

# 大和の子 ~積み重ね つみ重ねても またつみかさね~

令和 8年2月26日 No. 24 文責：校長 河野 太郎

## 内藤多仲先生の偉業にふれる（5年生 出前授業）



「今まで知らなかった内藤多仲先生のことがわかってよかったです。」

授業が終わって、山日新聞の記者によるインタビューに、そう答えた子どもたちでした。18日（木）には、内藤多仲先生に係るお話を斉藤設計事務所の斉藤 康弘さんからうかがう授業を実施しました。対象は5年生。6年生の修学旅行で東京タワーの見学をするため、毎年その準備の一環として東京タワーと内藤多仲博士

士についてのお話を聴いて学んでいます。

この日は、多目的ホールで行ったのですが、所狭しと並ぶ資料に子どもたちも驚いていました。東京タワーの設計図や当時のパンフレット、直筆の日記など、本当に貴重な品々です。

内藤多仲先生は、東京タワーだけでなく名古屋テレビ塔、札幌テレビ塔、二代目通天閣など、日本における鉄塔の建設に大きく貢献してきました。「塔博士」「耐震構造の父」と言われた博士です。本校の廊下にもその偉業が示されており、子どもたちにとっても身近な存在です。しかし、東京タワーの構造や当時の内藤博士の様子などは知る由もありません。



斉藤さんは、当時の内藤博士の日記を読んで紹介したり、保存されたNHKのインタビューの肉声を流して聞かせてくれたり、わかりやすく話をしてくれました。

若くして東京に出ていった博士の話やインタビューに耳を傾けると、子どもたちは斉藤さんの話引き込まれていくようでした。

「ここにある資料は、今の技術でも最先端のものです。大学の最先端の研究でも追いつかないようなすごい資料です。」

と斉藤さんが話してくれました。それほど、内藤博士の当時の研究が素晴らしかったということです。



修学旅行の見学に行くと、東京タワーでは必ず「内藤多仲先生の母校の櫛形北小のみなさん」と声をかけられます。今の5年生もこの日の学習をしっかりと頭に入れ、6年生として見学してきてほしいと思います。

齊藤康弘 様におかれましては、公私ともご多用の中、子どもたちのためにお話をいただきました。ありがとうございました。

なお、当日の授業の様子は、CATVと山梨日々新聞にて紹介されます。放映日等はわかり次第お伝えしますが、ぜひご覧ください。

### 親子で盛り上がったドッジボール～6年生授業参観～



2月20日(金)は、6年生の授業参観でした。この日は、最後の授業参観ということで、親子でドッジボールという企画です。体育館で実施なので、余裕があると思っていたのですが、体格が大きくなった6年生と保護者の皆様、しかもご両親揃って参加されている保護者の方もいて、広い体育館も若干狭く感じられるほどでした。

準備体操もおわり、いよいよゲームがスタートすると、子どもたちも大人も本気モードでした。特に、お父さんたちも手加減しながらもきちんと当てに行ったり、子どもたちもうまく当てられないと悔しがったり、なかなか楽しい時間になりました。2つのコートのうち、一つは子どもたち同士の対戦です。こちらも大いに盛り上がりました。親子で対戦すると、子どもたちの成長も感じられたようです。



終了後は、教室に入り学年部会の実施と保護者の皆様にはハードな一日になりました。ご多用の中、子どもたちのために時間をつくっていただき、本当にありがとうございました。

### 今年度最後の教材作成ボランティア



今年度から協力していただいている学校応援団による教材づくりのボランティア。2月18日に今年度の最後の活動をしていただきました。今回は、2年生の算数で使う「箱の形」の立体と展開図を作成してもらったり、これから学校行事等で使う花を作成してもらったりと、今回もたくさん内容に取り組んでいただきました。

昨年6月から毎月第3水曜日を中心に学校での作業でしたが、毎回多くの方に参加していただき、充実した活動になりました。学校応援団のコーディネーターである長澤 光 様をはじめ、学校評議員の横小路 豊様、多くの地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

